

2025 年度 自己評価結果

1. 梅花幼稚園の教育目標

- ・神を愛し、人を愛することもに
- ・自立した個性豊かなこどもに
- ・あそびを創り出せるこどもに

2. 2025 年度、重点的に取り組む目標・計画

- 「ともに」
- ・子ども自身が好きな遊びを充分に楽しみ、更に考え工夫し、遊び込めるような環境をつくる。
 - ・同年齢のみならず、異年齢との関わりの中から、お互いを思いやり支え合う心を育む。
 - ・様々な体験を通して、一人ひとりが自信を持って自分を表現し、豊かに過ごせるよう励ます。
 - ・統合保育の中で、自分とは違う存在と出会い、互いに受け入れ合い育ち合っていくことを願い、関わる。

3. 評価項目の達成および取り組み状況

評価項目	結果	取組状況
教育課程・指導	A	梅花幼稚園の原点に戻り、理念の再確認と保育活動の点検に取り組み、一人ひとりに即した関わり方の見直しを行った。
保健管理	A	コロナ感染症・インフルエンザ等、様々な感染症の予防対策の徹底に努め、換気、手指消毒、テーブル・トイレ等の消毒、必要時職員のマスク着用等、積極的に取り組んでいる。
安全管理	A	園庭遊具の安全検査を行った。
特別支援教育	A	家庭との連絡は、面談、連絡ノート、日々のやり取り等で密に行っている。関係機関との連携も密に行っている。
組織運営	A	職員同士子どもの様子について毎日話し合い、連携をとり保育を行っていくよう努力をしている。
研修（資質向上の取組）	A	オンライン・対面を含め、研修会等に参加し学んでいる。
教育目標・学校評価	A	園内研修を行い、皆で共有し取り組んでいる。
情報提供	A	常に教育理念に立ち返り、話し合いを深める。
保護者・地域住民との連携	A	園の保育を知っていただくため、ホームページ等を通し情報発信に努めている。また、子どもたちの日々の様子、育ちの姿を知って頂くためのおたより「ばいかつうしん」を12回発行した。
子育て支援	A	園に対しての希望をクラス懇談会等の場に出して頂けるように努めた。
預かり保育	B	ホームページの内容が充実してきて、それを見て来園する人も増えてきた。PR を更に工夫したい
教育環境整備	A	保育後のゆったりとした時間を大切にしている。
	A	子どもたちのあそびが豊かに安全に過ごせるよう、常に環境整備に努めている。

*評価結果の表示方法 A：十分達成されている B：達成されている C：取り組まれているが成果が十分でない D：取組が不十分である

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
A	・子どもにとって、ふさわしい環境（人的、物的）となるため、日々努力を重ねている。 ・一人ひとりの個性を大切にし、子どもたちをより深く理解するため、保育者同士の連携を密にする努力を今後も努めていく。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
・研修（資質向上）	・昨年に引き続き保育者の資質、子どもを見る目・力を更に豊かにするための学びを深め、保育の中で生かしていきたい。
・情報提供	・今まで以上に、H・P や保護者・地域の方との情報交換を通して、当園の特色や大切にしている保育について、情報発信していけるよう工夫したい。